

大学院社会システム研究科

博士前期課程・博士後期課程

Graduate School of Social System Studies

2027 Guidebook



北九州市立大学

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

ごあいさつ

私たちの生きるこの21世紀という時代は、国際情勢においても国内社会においても、グローバル化とコンピュータによる情報革新の急速な進行により、目まぐるしく変化し、将来の予測が困難な状況です。そうした中で、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域において活動の基盤として重要性を増した、いわば「知識基盤社会」の時代であり、大学院には、この時代を生き抜いていくための幅広い知識と国際的な素養を備えた高度な人材を養成することが求められています。

北九州市立大学の大学院は昭和56年(1981)の経営学研究科の開設に始まり、昭和58年(1983)の外国語学研究科、昭和59年(1984)の法学研究科、平成元年(1989)の経済学研究科、平成12年(2000)の人間文化研究科の4つの研究科の修士課程が作られ、さらに平成14年度(2002)には博士課程である社会システム研究科(地域社会システム専攻)が設置されました。

そして平成20年度(2008)にはこれらのうち外国語学研究科、経済学研究科、人間文化研究科を統合して4つの専攻からなる社会システム研究科の博士前期課程とし、前期課程2年・後期課程3年の現在の社会システム研究科が誕生しました。

社会システム研究科では多様な専門分野を網羅する担当教員が配置されており、幅広いテーマの研究指導に対応しています。また、研究の深みを増すために、専門の枠を越えた様々な分野の授業科目を履修できるカリキュラムを採用して学びの自由度を高めています。さらに、社会人のリカレント教育にも柔軟に対応できるよう昼夜開講制をとるとともに、専門職業人として学会発表や論文・著書の刊行などの優れた業績をあげることで早期修了できる制度も導入しています。

博士前期課程では、社会のあらゆる分野に生起する諸問題を解決していくための、狭い研究領域にこだわらない幅広い専門的な知識と国際的な素養をもった高度な人材の養成を目的としています。博士前期課程を修了後、さらに研究能力を高めたい人のために博士後期課程が設けられています。博士後期課程では、地域研究・地域社会研究を通じて高度な研究能力と専門知識を身につけ、地域が抱える諸課題を分析し、具体的な解決策を提言できる能力を備えた高度専門職業人及び研究者の養成を目的としています。

社会システム研究科では、専門的な研究の発展はもちろんのこと、未来を切り拓くための幅広い視野と創造力を培う機会も多く用意されています。皆さまがこの場に加わり、新たな学問の探求に踏み出されることを心待ちにしております。

社会システム研究科長 田 島 司

C O N T E N T S

博士前期課程	1	研究指導教員と専門分野・研究テーマ	8
専攻の紹介	2	博士後期課程	10
博士前期課程 開講科目	5	担当教員と専門分野等	12
修了要件等	6	修了要件等	13
修了までの流れ	7		

博士前期課程

概 要

- 1) 修業年限：2年
- 2) 修了単位：30単位
- 3) 専攻、定員及び学位

専 攻 名	定 員	授与する学位
現代経済専攻	1学年4名×2年	修士(経済学) (Master of Economics)
地域コミュニティ専攻	1学年8名×2年	修士(人間関係学) (Master of Arts in Human Relations)
文化・言語専攻	1学年10名×2年	修士(英米言語文化) (Master of Arts in English Studies) 修士(中国言語文化) (Master of Arts in Chinese Studies) 修士(比較文化) (Master of Arts in Comparative Culture)

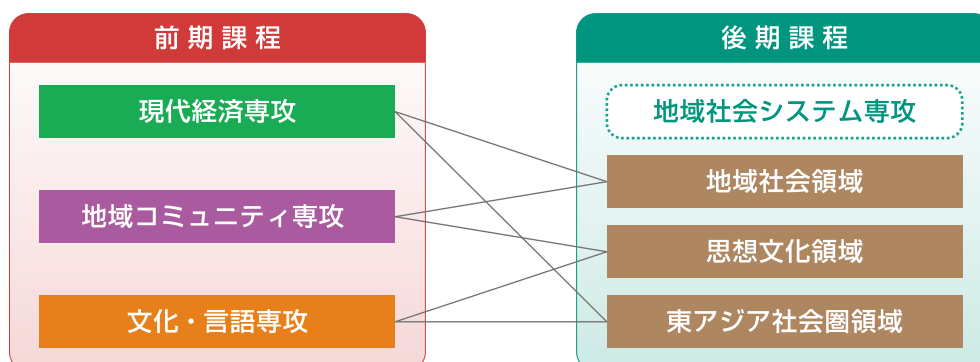
- 4) 開設時期：平成20年4月
- 5) 開講時間：平日、土曜日昼夜間開講

教育方法の特色

- 専攻間の垣根を越え、横断的な授業科目の修得が可能であり、他専攻の科目も10単位まで修了に必要な単位に算入できます。
※ただし、教職課程の科目は各専攻で規定されている科目を履修しなければなりません。
- 社会人の高度専門的リカレント教育への高いニーズに対応するため、授業は、平日、土曜日昼夜間開講で行なわれます。
- 学会発表など優れた業績をあげ、優秀な修士論文を完成させて、修了に必要な単位を修得した場合、1年以上在学すれば修了できるとした早期修了制度を導入しています。これにより、博士後期課程でも導入されている早期修了制度と併せて、最短3年で博士課程の修了が可能になります。
- 全専攻でセメスター制を導入し、すべての授業科目の取得単位を2単位としています。これにより、多彩な授業科目の履修が可能です。

博士後期課程との接続

博士後期課程においては、学際性・総合性を重視し、地域社会システム専攻の1専攻の中に、地域社会領域、思想文化領域、東アジア社会圏領域の3領域を置いています。前期課程と後期課程の教育課程の連関は次のとおりです。



専攻の紹介

社会システム研究科博士前期課程には、現代経済専攻、地域コミュニティ専攻、文化・言語専攻の3専攻を設置しています。

博士前期課程では、学士課程との接続を重視しつつ、地域社会に生起する諸問題を学際的かつ総合的に考究します。博士後期課程への進学者を含め、知識基盤社会に求められる深い洞察力と広い視野を備えた人材及び公共的業務や企業等において高度な能力を発揮できる専門的職業人の養成をめざしています。

現代経済専攻

Master's Program in Economics

地域経済、産業政策を実践的に研究する人材育成

本専攻は、主として経済学・経営学の視点から、地域社会に生起しつつある現代的な諸問題に焦点をあて教育研究を行います。

● 教育目的

国内外の経済社会の動向を的確に把握し、経済・経営の抱える課題について実践的、理論的に解決策を提示できる人材、公共的業務や企業等において活躍できる高度な専門職業人及び研究者の養成

● 入学者受入方針

- ◎ 経済または経営分野に関する理論や基礎的なデータ分析能力を有し、企業等の調査研究職や大学教員を目指す人や会計学の知識を持ち、税理士・公認会計士等の職業会計人を目指す人
- ◎ すでに一定のキャリアを積み、さらにより高度な経済・経営の専門知識を修得したいと考えている人や、政策能力を身につけ、公務員等として地域に貢献したいと考えている人
- ◎ 経済学・経営学のより深い修得を通じて母国の経済発展に寄与したいと考えている留学生

● 学位授与方針

■ 高度な専門的知識・技能

- ◎ 経済・経営に関する高度な知識を身につけている。
- ◎ 経済・経営の専門家として、必要な情報を収集し適切に分析する高度な技能を身につけている。

■ 高い問題解決能力と表現力

- ◎ 専門職業人ないし研究者として複雑化しグローバル化する経済社会を研究するための高い思考・判断力を身につけている。
- ◎ 専門職業人ないし研究者として、自身の知識、問題意識や研究成果を他者に表現する力を身につけている。

■ 高い倫理観に基づいた自律的行動力

- ◎ 高い倫理観に基づき高度な専門知識を生かして、経済・経営の抱える課題に主体的かつ自律的に取り組む態度を身につけている。
- ◎ 学んだ知識と社会現象を関連させて捉えようとする態度を身につけている。

地域コミュニティ専攻

Master's Program in Human Relations and Community Studies

人間行動の研究を通して地域コミュニティの再生をめざす人材育成

本専攻は、主に社会学・社会福祉学の視点から、地域社会に生じつつある人間社会としての諸問題に焦点をあて、コミュニティにおける人間行動の基礎研究、実践的研究、フィールドワーク研究などの分野を置いています。

● 教育目的

地域コミュニティの現代的再生を目指し、人間関係に係る学際的学問領域を統合した高度専門リカレント教育と高度な専門職業人及び研究者の養成

● 入学者受入方針

- ◎ 生活の場である地域コミュニティに貢献する保健、福祉、教育等の専門職に従事し、リカレント教育の一環として学習を希望する社会人
- ◎ 地域における問題や課題を認識し、地域コミュニティが直面する問題を実践的に探求、解決しようとする意欲をもつ人
- ◎ 心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学などの分野について関心を持ち、専門的研究を目指す学生および留学生

● 学位授与方針

■ 高度な専門的知識・技能

- ◎ 個人や社会に関する理論的枠組みと社会的・文化的諸課題に関する高度な専門的知識と技能を身につけている。
- ◎ 人間の基本的特性について理解を深めていくための高度な専門的知識と技能を身につけている。

■ 高い問題解決能力と表現力

- ◎ 個人や社会に関する理論的枠組みと社会的・文化的諸課題を見定める高い思考・判断・表現力を身につけている。
- ◎ 人間の基本的特性に関わる諸課題への最適な解決方法を導き出す高い思考・判断・表現力を身につけている。

■ 高い倫理観に基づいた自律的行動力

- ◎ 高い倫理観に基づき人間関係に関わる諸課題への実践的な対応策を提示する態度を身につけている。
- ◎ 人間関係に関わる諸課題へ対応するため自律的に行動する態度を身につけている。



文化・言語専攻

Master's Program in Language and Culture

英語圏・中国語圏などの国際社会で活躍できる人材育成

本専攻は、広く人文学において蓄積された文化と言語に関する学術的知見を基礎として、文化理解と言語能力の涵養に重点を置いて英語圏・中国語圏などの国際社会において活躍できる能力の養成をめざしています。

● 教育目的

文化と言語に係る専門知識と能力を涵養し、深い洞察力と広い視野を持つ人材、高度な専門職業人及び研究者の養成

● 入学受入方針

英米言語文化領域

- ◎高度な言語力を生かし、英語圏の言語・文学・文化についての研究を目指して、国際社会における異言語・文化間に架橋できる広い視野を具えようとする学生および留学生
- ◎すでに英語の普通一種免許状を取得し、言語・文化に関する専門知識と研究能力を一層向上させるため、英語の専修免許状を取得しようとする人
- ◎すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または各種の研究施設の研究者を目指す人

中国言語文化領域

- ◎すでに身に付けている高度な言語力を生かし、中華文化圏の言語・文学・思想・文化の専門分野についての研究を目指して、国際社会における異言語・文化間に架橋できるような広い視野を具えようとする学生および留学生
- ◎すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または各種の研究施設の研究者を目指す人

比較文化領域

- ◎言語、文学、思想、文化などの専門分野の研究を目指して、国際社会における異言語・文化間に架橋できるような広い視野を具えようとする人
- ◎すでに積み上げた一定のキャリアを一層専門的に向上させ、大学・短大などの教員または各種の研究施設の研究者を目指す人
- ◎言語・文化に関する一定の知識を有し、グローバル化する世界情勢に対応するため、日本語・日本文化のみならず英語、中国語などと自国の言語・文化との比較研究を行いたい学生および留学生

● 学位授与方針

英米言語文化領域

■ 高度な専門的知識・技能

- ◎英語圏の言語、文学、文化に関する高度な知識を身につけている。
- ◎専門的職業人や研究者として、国際社会に役立てる高度な技能を身につけている。

■ 高い問題解決能力と表現力

- ◎高度な英語力を持つ専門的職業人や研究者として、課題を発見し問題を解決する高い能力を身につけている。
- ◎あらゆる資料を駆使して適切に分析し研究するための高い思考・判断・表現力を身につけている。

■ 高い倫理観に基づいた自律的行動力

- ◎高い倫理観に基づき専門的な言語・文化知識を生かして、相互理解を促進するコミュニケーション力を身につけている。
- ◎国際社会が抱える課題と主体的に取り組む自律的行動力を身につけている。

中国言語文化領域

- ◎中華文化圏の言語、文学、思想、文化に関する高度な知識を身につけている。
- ◎専門的職業人や研究者として、国際社会に役立てる高度な技能を身につけている。

- ◎高度な中国語力を持つ専門的職業人や研究者として、課題を発見し問題を解決する高い能力を身につけている。
- ◎あらゆる資料を駆使して適切に分析し研究するための高い思考・判断・表現力を身につけている。

- ◎高い倫理観に基づき国際社会が抱える課題と主体的に取り組む態度を身につけている。
- ◎専門的な言語・文化知識を生かそうとする自律的行動力を身につけている。

比較文化領域

- ◎比較文化に関する高度な知識を身につけている。
- ◎専門的職業人や研究者として、国際社会に役立てる高度な技能を身につけている。

- ◎高度な文化理解と分析力を持つ専門的職業人や研究者として、課題を発見し問題を解決する高い能力を身につけている。
- ◎あらゆる資料を駆使して適切に分析し研究するための高い思考・判断・表現力を身につけている。

- ◎高い倫理観に基づき専門的な言語・文化知識を生かして、相互理解を促進するコミュニケーション力を身につけている。
- ◎国際社会が抱える課題と主体的に取り組む自律的行動力を身につけている。

博士前期課程 開講科目

専攻共通科目

社会システム総合概論（必修）、日本語特別研究 ※留学生特別科目

各専攻専門基礎科目及び専門科目

現代経済専攻				
領域	区分	授業科目	区分	授業科目
経済学	専門基礎科目	マクロ経済分析基礎	経済科目	マクロ経済学
		ミクロ経済分析基礎		ミクロ経済学
		計量経済分析基礎		財政学Ⅱ
		財政学Ⅰ		金融論
		地域経済論		国際金融論
		国際経済論		産業組織論
		経済史		統計学
				計量経済学
				労働経済学
				環境経済学
	経営科目	会計学Ⅰ	経営科目	新興国経済論
		財務会計Ⅰ		会計学Ⅱ
		経営学Ⅰ		財務会計Ⅱ
		マーケティング		管理会計
		経営組織論		経営学Ⅱ
		情報管理基礎		経営戦略論
				コーポレート・ファイナンス
				人的資源管理
				企業論

地域コミュニティ専攻				
領域	区分	授業科目	区分	授業科目
人間関係学	専門基礎科目	コミュニティ理論科目群	専門科目	認知心理学
		社会心理学		教育制度論
		生涯学習論		教授・学習心理学
		臨床心理学		福祉コミュニティ論
		教育心理学		障害者福祉論
	実践科目	社会福祉援助論	実践科目	
		都市マネジメント学		
		文化社会学		
		臨床社会学		
フィールド文化科目	フィールド文化科目群	文化社会学	フィールド文化科目群	フィールドワーク論
		臨床社会学		環境社会学

文化・言語専攻				
領域	区分	授業科目	区分	授業科目
英米言語文化	専門基礎科目	イギリス文学研究概論	専門科目	英語表現法
		アメリカ文学研究概論		現代イギリス文学研究
		英語学研究概論		イギリス文学研究
		英語教育法研究概論		イギリス文化研究
				現代アメリカ文学研究
	英米言語文化科目群		英米言語文化科目群	アメリカ文学研究
				アメリカ文化研究
				社会言語学研究
				英語翻訳研究
				英語通訳研究
中国言語文化	専門基礎科目	中国語法研究概論	専門科目	第二言語習得研究
		中国文化研究概論		中国民族文化研究
		中国思想文化研究概論		中国哲学史研究
				中国語教授法研究
				中国民間文学研究
	中国言語文化科目群		中国言語文化科目群	中国文化史研究
				中国古典文学研究
				中国語音声学研究
				中国語教育論研究
比較文化	専門基礎科目	比較文化研究概論	専門科目	日本宗教文化研究
		日本文化研究概論		日本美術史研究
		言語学研究概論		日本表象文化研究
		比較文学研究概論		日本古典文学研究
				比較広域文学研究
	比較文化・言語科目群		比較文化・言語科目群	比較広域文化研究
				ヨーロッパ比較文化研究
				日英比較文化研究
				日米比較文化研究
				理論言語学研究（形態論）
				理論言語学研究（統語論）

特別研究科目

特別研究基礎、特別研究1（必修）、特別研究2（必修）、特別研究3（必修）

教育課程編成

- 1) 教育課程は、「専攻共通科目」「専門基礎科目」「専門科目」「特別研究科目」の4つの科目区分で構成し、コースワークによる体系的な学習を行います。また、幅広く学際的な知見を獲得していくため、所属する専攻以外の「専門基礎科目」及び「専門科目」の授業科目を履修し、単位を取得することができます。
 - 2) 「専攻共通科目」は、現代の社会システム全般を対象として取り上げ、多領域的な視点からアプローチしていくことを学ぶための科目です。コースワークの概論科目として「社会システム総合概論」を1年次1学期に開設しています。
 - 3) 「専門基礎科目」は、各専攻分野に関する基礎的な専門知識や能力を取得させるための科目区分です。1年次1学期から履修します。
 - 4) 「専門科目」は、各専攻分野に関する専門的知識や能力を修得させるための科目区分です。1年次2学期から2年次修了までの間に履修します。
 - 5) 「特別研究科目」は、自ら研究課題を設定し研究活動を遂行できる創造力、自立力を養成するための科目区分です。研究課題の設定から、論文の構想検討、中間発表、論文提出に至るプロセスを重視します。1年次2学期から2年次修了までの間に特別研究1、特別研究2、特別研究3を履修し、6単位必修としています。
- また、特別研究1、2、3の準備段階として、研究の課題設定、研究計画の作成、研究の進め方、研究分野に関する学術論文等の講読指導など、論文作成の入門・基礎を学ぶ特別研究基礎を選択科目として配置しています。

修了要件等

修了要件

1) 標準修業年限

標準修業年限は2年。ただし、優れた研究業績を上げたと認められた者については、1年以上の在学があれば修了することができます。(2)参照)

2) 早期修了制度

学会発表など優れた研究業績をあげ、優秀な修士論文を完成させて、修了に必要な単位を修得した場合、1年以上の在学があれば修了できるとした早期修了制度を導入しています。

3) 修了要件

修了するためには、以下の要件を満たさなければなりません。

- ① 2年(研究科委員会が優れた研究業績を上げたと認めた者である場合は1年)以上在学すること。
- ② 下表の定めるところにより30単位以上修得すること※1。
- ③ 必要な研究指導を受けた上、学位請求論文審査(特定の課題についての研究の成果を含む。)に合格すること。
- ④ 最終試験に合格すること。

30単位の内訳

授業科目の区分	修了に必要な単位数	備 考		
専攻共通科目	2単位※2	社会システム総合概論(必修)の単位を修得すること。		
専門基礎科目	6単位以上	所属する専攻の科目群から6単位以上修得すること。 文化・言語専攻においては、学生の所属する領域により以下科目群から6単位以上修得すること。		
		学生の所属する領域		
		英米言語文化	中国言語文化	比較文化
		英米言語文化科目群から6単位以上	中国言語文化科目群から6単位以上	比較文化・言語科目群から6単位以上
専門科目	6単位以上	所属する専攻の科目群から6単位以上修得すること。 文化・言語専攻においては、学生の所属する領域により以下科目群から6単位以上修得すること。		
		学生の所属する領域		
		英米言語文化	中国言語文化	比較文化
		英米言語文化科目群から6単位以上	中国言語文化科目群から6単位以上	比較文化・言語科目群から6単位以上
特別研究科目	6単位以上	研究指導教員が担当する特別研究1～3(必修)の単位を修得すること。		
合 計	30単位以上			

注(※1) 研究科委員会の承認があった場合、他の専攻及び他の研究科(博士後期課程を除く)の授業科目を履修することができる。
これにより修得した単位は、10単位を超えない範囲で修了に必要な単位数に算入することができる。

(※2) 外国人留学生においては、留学生特別科目で修得した単位を修了に必要な単位数に算入することができる。

教育指導体制

- 1) 学生は、入学後1年次1学期の期間、履修アドバイザーの指導を受けます。履修アドバイザーは、原則として入学願書に記載した「希望する研究指導教員」を充てるものとします。履修アドバイザーは、1年次1学期の履修指導を通して、担当する学生の研究テーマに適切な研究指導教員(及び必要に応じて副指導教員)を、1年次2学期開始前までに決定します。なお決定にあたっては、学生の希望も参考にします。
- 2) 研究指導教員は、学生の特性や目的、研究スタイルに応じて、学習指導・研究指導を行います。具体的には、1年次に履修計画と研究計画の作成、2年次1学期には修士論文の中間発表、2年次2学期には修士論文の完成、修了までを責任を持って指導します。
- 3) 研究指導教員は毎週1回の特別研究1、2、3を通して、学生の個別の相談に応じます。
* 履修アドバイザー及び研究指導教員は、専攻の専任教員で研究指導資格をもつ教員を充てます。

専修免許状

社会システム研究科博士前期課程に入学後、教育職員免許法及び同法施行規則により定められた単位を修得した者は、下記の専修免許状を取得することができます。

専 攻	免許状の種類	免許教科の種類
文化・言語専攻	中学校教諭専修免許状	英 語
	高等学校教諭専修免許状	英 語

修了までの流れ



論文作成要領

論文は原則として以下の基準で作成すること。

* 特定課題の場合は別途基準を設ける

執筆言語	作成基準
日本語の場合	A 4版 20,000字以上
中国語の場合	
英語の場合	A 4版(ダブルスペース)6,000語以上

* 参考文献目録は、原則として枚数に算入しない。

* その他詳細については、研究指導教員の指示に従うこと。

研究指導教員と専門分野・研究テーマ

*2027年度 研究指導教員は変更となる可能性があります。

現代経済専攻

分野	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
経済	畔 津 憲 司	労働経済学や行動経済学に関する研究など
	姉 川 恭 子	教育経済学や高等教育政策、大学の運営・経営支援に関する実証研究を主に行なっています。
	牛 房 義 明	因果推論、行動経済学などの知見を活用したフィールド実験をエネルギー、ジェンダーなどの分野で行っています。
	魏 芳	国際相互依存下の貿易・投資・産業政策の経済分析を主なテーマとしています。グローバル・バリューチェーン（GVC）に関する理論・実証分析にも関心を持っています。
	後 藤 宇 生	構造推定と仮想実験を道具に、企業間競争、特に多市場接触や内生的製品属性の分野に興味を持って、分析を行なっています。
	白 石 麻 保	アジアの新興国経済に生じている諸問題を計量分析と現地調査の双方を用いてミクロ方面から分析しています。主な対象は中国です。
	田 中 淳 平	マクロ経済学の様々なトピックス（バブル経済、財政・金融政策、二重労働市場など）に関心があります。
	田 村 大 樹	情報社会の進展に伴い地域経済がどのように変化するかについて、経済地理学的方法論から考察しています。
	土 井 徹 平	19世紀末から20世紀初頭の日本経済史を専門としています。特に地域・職業間の「労働移動」の分析を通じて、近代産業の発展に伴う労働市場の形成・発展のプロセスを実証的に明らかにする研究を行っています。
	藤 井 敦	医療関連産業の生産面における実証的効率性分析を行っています。特に、統計的分析と親和性の高い経済学的モデル開発に関心があります。
会計・経営	市 原 勇 一	企業・組織における管理会計を中心とするマネジメント・コントロール・システムの利用とその効果について、主に定性的な方法に基づいた研究を行っています。
	池 田 欽 一	情報工学手法の経済・経営データへの応用をテーマとしています。ただし、少数データの性質に着目したものではなく、多量のデータを用いた研究を行っています。
	浦 野 恭 平	企業、特に中小企業のイノベーションの促進要因について研究しています。リーダーシップや組織能力の側面、そして、外部連携についての調査などを実施しています。
	山 下 剛	経営学、経営組織論が専門で、主として企業を念頭に、組織と人間の関係性に関する理論的な研究を行っています。

地域コミュニティ専攻

分野	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
コミュニティ基礎	児 玉 弥 生	学校と地域社会の連携・共同について研究しています。特に学校における教育課程の設計と実施の過程に関心があります。
	田 島 司	自己やアイデンティティの問題を社会的相互作用とのかかわりから検討する社会心理学的な基礎研究をしています。
	恒 吉 紀 寿	市民活動や運動など活動・実践を通じた成人や子どもの主体（的）形成（のプロセス）やその支援について関心を持っています。
	松 本 亜 紀	注意、記憶、情動をテーマに認知心理学的研究を行っています。特にストループ・逆ストループ干渉についての基礎的研究に関心があります。
コミュニティ実践	上 田 紋 佳	読書をはじめとする言語活動および児童の言語発達に関して、心理学的観点から研究しています。また、教育・臨床実践への応用にも関心があります。
	小 林 敏 樹	公共空間の利活用、エリアマネジメント、交通、観光、教育、まちあるき、文化、こども、健康や医療、空き家の活用など、多様な視点から持続可能な地域やまちのあり方について研究を行っています。
	坂 本 毅 啓	現代社会における社会福祉について、臨床（ミクロ）、地域（メゾ）、制度・政策（マクロ）を横断的に研究をしています。地域における社会的排除、ソーシャルワーク教育における ICT 活用が最近の主なテーマです。
	深 谷 裕	障害者、元受刑者、外国人など社会的マイノリティの地域定着に向けて、個人支援と社会的支援の在り方を長期的視点から検討し、質的・量的手法を用いて実証的に研究しています。
	山 下 智 也	子どもの主体性を保障するための大人の居方・関わり方や、それを取り巻く子どもの環境（遊び場・居場所）などについて、実践と研究の両輪でアプローチしています。
フィールド文化	岩 松 文 代	人と自然の関わり方を人文社会的に研究しています。歴史や交流、地理や生態、産業や消費、言語や精神性など、様々な視点で考察しています。
	竹 川 大 介	人類学の分野でフィールドワークを主体としたコミュニティ研究をおこなっています。人類学、海洋民族学、沖縄地域研究、アジア太平洋地域研究。
	西 田 心 平	都市・地域をフィールドにした歴史的・社会学的な研究が専門です。観察と関与の両面を含んだフィールドワークに関心があります。
	濱 野 健	社会学を専門にしています。家族とりわけ離婚を経験した別居家族のその後の共同養育について関心を持っています。

文化・言語専攻

分野	研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
英米言語文化	Adam Hailes	My main research interest is in British theatre. I am particularly interested in the stagecraft of William Shakespeare and theories of pleasure.
	Jenifer Larson-Hall	Second language acquisition, research methodology, language teacher training, fluency, vocabulary
	木原謙一	イギリス・アイルランド文学を研究しています。研究の中心はアイルランドの国民詩人 W. B. イェイツ、イギリス 19 世紀ロマン主義です。近代合理主義が捉えきれない存在の不思議を捉えようとした詩人に興味があります。
	齊藤園子	19 世紀から 20 世紀にかけてのアメリカ文学を中心に研究してきました。特に、ヨーロッパへの移住や滞在の経験を持つ在欧・滞欧アメリカ人作家の作品における文化的アイデンティティを主な研究テーマにしています。
	濱奈々恵	イギリス文学を研究しています。長らく取り組んでいるのは、19 世紀の作家ジョージ・エリオットと帝国主義・帝国意識の関係です。同時に現代小説も研究しており、主な研究対象は(旧)植民地出身の作家やブッカー賞です。
中国言語文化	胡玉華	中国語教育に関する実践研究を行っています。特にコミュニケーション能力をアップさせるための教室活動の設計に関心を持っています。
	武井満幹	陶淵明、『文選』を中心に、中国六朝時代の文学を研究しています。詩文に使われている語や表現に注目し、それらが何に基づきどう継承発展されているのかという点に関心があります。
比較文化	Fiona Creaser	My research focuses on gender and diversity. I am currently involved in three main areas of research, one is called Unity in Diversity which aims to bring instruction about diversity to students at UKK, the second is teaching young people about diversity through the Kids2Kids foundation and the third is teaching about diversity to older people in the community using i-Design Community College as the medium of instruction.
	Rodger Williamson	ラフカディオ・ハーン著作活動や未刊資料、自筆ノートを通じて、彼の世界観が形成された過程を明らかにすることを主なテーマとしています。特に、当時の社会問題への洞察、異文化環境における適応の在り方に関心があります。
	齋藤公太	近世・近代日本の宗教思想史を研究しています。特に『神皇正統記』などの古典的テキストがそれぞれの時代状況のなかでいかに解釈されてきたかという問題に着目してきました。最近では近代の宗教哲学にも関心を持っています。
	五月女晴恵	絵巻を中心とした日本の中世絵画を研究しています。近年の主な研究対象は、次の通りです。「鳥獣人物戯画」甲・乙巻、「彦火々出見尊絵巻」、「一遍聖絵」、「土蜘蛛草紙絵巻」、金戒光明寺所蔵本系「俵太絵巻」等。
	圃迫雅彦	生成文法理論に基づく言語獲得のメカニズム解明に焦点を当てています。特に、日本語や英語を母語とする幼児の言語発達過程における機能範疇の習得に注目し、統語構造の発達を実証的に分析しています。
	永末康介	日本語の統語構造と文法現象を理論言語学（主に生成文法理論）の観点から分析します。日本語と他言語との統語現象の比較研究や理論的知見を応用した言語教育への展開にも関心があります。
	真鍋昌賢	これまで近現代日本の大衆芸能・口承文芸に関心をもち、声の表現が、様々なメディアと関わりながら、どのように生成・受容されてきたのかを研究してきました。主な研究対象は浪曲です。

2025年度学位請求論文(修士)題目一覧

地域コミュニティ専攻	離婚家庭の子どもの目に映る「祖父母との関わり」 ―祖父母による養育支援の実情に注目して―
	ACEs（逆境の小児期体験）の及ぼす影響と TIC（トラウマインフォームドケア）の取り組み ―トラウマセンシティブスクールを目指して―
	農山村移住者と家族の生活史 ―移住と創業の意思決定過程を通して―
	自己開示が親密感に与える影響 ――相互性規範と適切性規範について――
	当事者概念の理論的更新のために ―訪問介護のエピソードを通じた実践的考察―
	自己観に関する社会心理学的研究 ―社会的環境による影響の検討―

文化・言語専攻	「語られないものが語るもの」 ―イシグロ初期作品にみる記憶とアイデンティティ
	Youth Voice to Youth Impact: Adult Interpretation and Application of a Youth-led Project-Based Learning Product in Different Educational Contexts
	『捜神記』における「死者蘇生」物語の文学的価値に関する分析 ―冥界から帰す物語に注目して
	方向補語の学習における教授法に関する研究
	A Comparative Study of Changes in University Students' Communication and Behavior in Japan and the United States during the COVID-19 Pandemic

東アジア専攻	門司港と近代日本の発展 ―門司港・若松・小倉を結んだ石炭とその港湾ネットワーク―
--------	---

論文及び結果要旨は
こちらから



博士後期課程

概 要

- 1) 修業年限：3年
- 2) 修了単位：12単位
- 3) 専攻、定員及び学位

専 攻 名	定 員	授与する学位
地域社会システム専攻	1学年6名×3年	博士(学術)(Doctor of Philosophy)

- 4) 開設時期：平成14年4月
- 5) 開講時間：平日、土曜日昼夜間開講

教育方法の特色

1) 体系的な論文指導

主指導、副指導の教員の下に徹底的な個別指導を実施し、1年次では研究計画概要の提出、2年次では研究報告会、予備論文の提出と審査など、節目々々で教員チームによる評価を行います。

2) 多様な授業科目の提供

多様な専門分野をカバーする担当教員を配置し、徹底した個別の論文指導を行う特別研究とともに、各領域・コースにおいて最先端の研究成果を修得させる研究科目を提供しています。

3) 弾力的な開講制度

社会人学生の要望に応じて、昼夜開講制、土曜開講、集中講義などを含む弾力的な開講制度を実施しています。また、必要に応じて、他研究科の履修も可能です。(講義と演習は、キャンパスにおいて取得する必要がありますが、論文作成の段階では遠隔指導による効率的な指導を受けることも可能です。)

4) 早期修了制度

優れた研究実績をすでに持っている学生には、最短1年の在学期間で課程博士を取得することが可能な早期修了制度を設けています。

領域の紹介

社会システム研究科博士後期課程地域社会システム専攻には、地域社会領域、思想文化領域、東アジア社会圏領域の3つの領域および国際開発政策コースの1コースを設置しています。

1) 地域社会領域

北九州地域をはじめとする地域社会の実態を行政セクター、産業セクター、市民セクターなどの多角的視点から分析し、産業振興、まちづくり、地域福祉、青少年教育、環境保全などの都市政策の個別領域における研究を行います。

2) 思想文化領域

いわゆるグローバルな立場からの市民社会思想、人間文化、言語文化などの今日の状況を研究し、地域における市民社会・市民文化の創造に貢献します。

3) 東アジア社会圏領域

東アジアを中心として、その周辺を含む「東アジア社会圏」を対象に、国際的な視野から、その政治、経済、文化、歴史、国際協力などの研究を行います。

4) 国際開発政策コース

(公財)アジア成長研究所との連携協定にもとづき、アジア地域の国際開発・地方行政の分野における研究と政策策定を行うことのできる人材を、主に英語による一貫した教育体制により養成します。

地域社会システム専攻

Ph.D. Program in Social System Studies

地域研究・地域社会研究を通じた高度専門職業人・研究者の養成

本専攻は、地球化(グローバル化)と地域分権化(ローカリゼーション)の同時進行する時代にあって、北九州地域を中心に、東アジア・東南アジアを視野に入れ、思想文化の視点をも加えた地域社会研究・地域政策研究の場を提供します。

● 教育目的

地域研究・地域社会研究を通じて高度な研究能力と専門知識を身につけ、地域が抱える諸課題を分析し、具体的な解決策を提言できる能力を備えた高度専門職業人及び研究者の養成

● 入学者受入方針

- ◎ さらに高度な専門性を持つ研究者を目指す人
- ◎ 地域研究・地域政策研究のプロフェッショナルとなることを目指す公務員、公的及び民間研究機関等の職員、企業関係者、NGO・NPO職員等の社会人
- ◎ より高度な専門知識の習得を目指す教員、マスコミや報道及び広告業などジャーナリズム分野の関係者等の社会人
- ◎ 東アジア及びその周辺諸国の発展へ寄与することや、母国の大学・高校教員として活躍することを目指す留学生

● 学位授与方針

■ 高度な専門的知識・技能

- ◎ 地域の都市社会(アーバン・コミュニティ)の法的・政治的・社会的・経済的・文化的諸課題に関する専門的知識とそれを運用するより高度な技能を身につけている。
- ◎ 地域社会研究・社会システム研究に普遍的な位置づけを与える思想文化的背景に関する専門的知識とそれを運用するより高度な技能を身につけている。
- ◎ 北九州と地理的・歴史的に深いつながりをもつ東アジア社会圏に関する専門的知識とそれを運用するより高度な技能を身につけている。

■ 高い問題解決能力と表現力

- ◎ 地域社会の次代を切り拓くより高い思考・判断・表現力を身につけている。
- ◎ 東アジア社会圏の次代を切り拓くより高い思考・判断・表現力を身につけている。
- ◎ 研究分野の次代を切り拓くより高い思考・判断・表現力を身につけている。

■ 高い倫理観に基づいた自律的行動力

- ◎ 高い倫理観に基づき地域社会における課題を見定め、その構造を分析・探求し、実践的な政策提言に繋げる態度と自律的行動力を身につけている。
- ◎ 高い倫理観に基づき地域社会研究・社会システム研究にもっとも関わりのある思想と文化の分野において、新しい構想・創造に寄与し、方向付けを与える態度と自律的行動力を身につけている。
- ◎ 高い倫理観に基づき東アジア社会圏のさまざまな地域社会の社会システム(政治・経済・文化)を個別的・実証的に研究する態度と自律的行動力を身につけている。

担当教員と専門分野等

*2027年度 研究指導教員は変更となる可能性があります。

博士後期課程 地域社会システム専攻

教育課程編成

- 1) 教育課程は、「特別研究」「研究科目」の2つの科目区分で構成しています。
- 2) 「特別研究」は、専門知識を体系化・総合化させ、学位論文が最終的な成果となるよう研究指導教員による徹底した個別の論文指導を行う科目区分です。3年間で学位請求論文を作成させる教育プログラムとし、1年次では研究計画概要の提出、2年次では研究報告会実施・予備論文の提出を課し、体系的な論文指導を行います。
- 3) 「研究科目」は、各領域及びコースにおいて、現実の地域社会の基盤・背景をなしている政治・経済・福祉・文化について最先端の研究成果を修得させるための科目区分です。各領域においては、博士前期課程からの教育プロセスとの一貫性を踏まえた科目を自由科目として配置しています。

地域社会領域

研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
上 田 紋 佳	読書をはじめとする言語活動および児童の言語発達に関して、心理学的観点から研究しています。 また、教育・臨床実践への応用にも関心があります。
牛 房 義 明	因果推論、行動経済学などの知見を活用したフィールド実験をエネルギー、ジェンダーなどの分野で行っています。
坂 本 毅 啓	現代社会における社会福祉について、臨床(ミクロ)、地域(メゾ)、制度・政策(マクロ)を横断的に研究をしています。 地域における社会的排除、ソーシャルワーク教育におけるICT活用が最近の主なテーマです。
田 島 司	自己やアイデンティティの問題を社会的相互作用とのかかわりから検討する社会心理学的な基礎研究をしています。
濱 野 健	社会学(家族の変容、あるいは人の国際移動に関する領域)
深 谷 裕	障害者、元受刑者、外国人など社会的マイノリティの地域定着に向けて、個人支援と社会的支援の在り方を長期的視点から検討し、質的・量的手法を用いて実証的に研究しています。

■ また、同領域において以下に掲載する教員の授業を受講することができます。

担当教員名	授業科目名
松 本 亨	都市環境政策研究

思想文化領域

研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
Rodger S. Williamson	ラフカディオ・ハーン著作活動や未刊資料、自筆ノートを通じて、彼の世界観が形成された過程を明らかにすることを主なテーマとしています。特に、当時の社会問題への洞察、異文化環境における適応の在り方に関心があります。
Fiona Creaser	Gender and Diversity, Women's Empowerment, LGBTQ+Community
竹 川 大 介	人類学の分野でフィールドワークを主体としたコミュニティ研究をおこなっています。人類学、海洋民族学、沖縄地域研究、アジア太平洋地域研究。
堀 地 明	16～20世紀前半における中国(明末～中華民国北洋政府期)の民衆運動・日中関係・首都北京の国家と社会を研究しています。また、清代における公文書管理と文書行政にも関心があります。
真 鍋 昌 賢	これまで近現代日本の大衆芸能・口承文芸に関心をもち、声の表現が、様々なメディアと関わりながら、どのように生成・受容されてきたのかを研究してきました。主な研究対象は浪曲です。
Jenifer Larson-Hall	Second language acquisition, research methodology, language teacher training, fluency, vocabulary.

東アジア社会圏領域

研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
大 平 剛	国際協力論、ODA政策論、国際開発援助レジーム研究
下 野 寿 子	中台関係の変化とその影響について、主に両岸の地方政府の観点から研究しています。近年は台湾の農産物貿易や農業政策が中国化やグローバル化の影響を受けて変化する様子を追い、中国との共存の在り方を考えています。
白 石 麻 保	アジアの新興国経済に生じている諸問題を計量分析と現地調査の双方を用いてミクロ方面から分析しています。主な対象は中国です。

国際開発政策コース(AGI連携大学院)

研究指導教員名	専門分野・研究テーマ
戴 二 彪 *	Urban and Regional Economics, Economic Development in China, International Labor Migration, Japan-China Economic Relation
岸 本 千佳司 *	The industrial development of Taiwan
彭 雪 *	Urban development, international population migration and tourism, and analysis of spatial big data.

*は特任教員

修了要件等

修了要件

1) 標準修業年限

標準修業年限は3年。ただし、優れた研究業績を上げたと認められた者については、1年以上の在学があれば修了することができます。(2)参照)

2) 早期修了制度

研究科委員会が優れた研究業績を上げたと認めた者は、必要な研究指導を受けた上、1年以上の在学があれば修了できるとした早期修了制度を導入しています。

3) 修了要件

修了するためには、以下の要件を満たさなければなりません。

- ① 3年(研究科委員会が優れた研究業績を上げたと認めた者である場合は1年、当該者が博士前期課程又は他の大学の大学院の修士課程を1年で修了した者である場合は2年)以上在学すること。
- ② 下表の定めるところにより12単位以上を修得すること。
- ③ 必要な研究指導を受けた上、学位請求論文審査に合格すること。
- ④ 最終試験に合格すること。

12単位
の内訳

授業科目の区分	修了に必要な単位数	備 考
特別研究	12単位	研究指導教員が担当する特別研究(必修)の単位を修得すること。
合 計	12単位以上	

2025 年度学位請求論文(博士) 題目一覧

領 域	論文題目
思想文化	英国エピック・ファンタジーの誕生 ー古代叙事詩からの継承とキリスト教的世界観を基軸としてー
地域社会	生活保護における制度理念の継承と再解釈 ー「北九州方式」の構築主義的研究ー
	白内障手術熟達化プロセスに関する研究
	英語の読み書き困難を持つ学習者のスクリーニングと教育的支援に関する研究
	ストック型社会の制度的基盤に関する研究 ー公共性・環境リスク対応・技術革新の統合を目指してー
国際開発政策コース	Impacts of Return Migration of Highly Educated Talent (HET) on the Economic Development of the Origin Region: A Case Study of Hunan Province, China

論文及び結果要旨はこちらから➡



過去の論文(全文)は
本学図書館Webサイトから
閲覧できます。➡



社会システム研究科 入試日程

博士前期課程		夏 期 日 程	冬 期 日 程
	選抜区分	一般選抜・社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	一般選抜・社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
	出願期間	2026年7月14日(火)～7月21日(火)必着	2026年11月30日(月)～12月4日(金)必着
	試 験 日	2026年8月30日(日)	2027年1月31日(日)
	合格発表	2026年9月4日(金)	2027年2月5日(金)
	入学手続	2027年1月19日(火)～1月22日(金)	2027年3月9日(火)～3月15日(月) (海外在住者 2027年2月17日(水)～2月26日(金))

博士後期課程		夏 期 日 程 ・ 10 月 入 学	冬 期 日 程
	出願期間	2026年7月14日(火)～7月21日(火)必着	2027年1月27日(水)～2月2日(火)必着
	試 験 日	2026年8月30日(日)	2027年2月28日(日)
	合格発表	2026年9月4日(金)	2027年3月5日(金)
	入学手続	2027年1月19日(火)～1月22日(金)※	2027年3月23日(火)～3月26日(金)

※10月入学者入学手続：2026年9月7日(月)～9月10日(木)

学生募集要項の 入手方法

<https://www.kitakyu-u.ac.jp>

詳しくは上記ホームページより「入試情報」⇒「大学院の入試情報」をご覧ください。

上記ホームページに掲載しているPDF版の学生募集要項をプリントアウトして出願することができます。

入学金・授業料

入学金	区 分	金 額	授業料	区 分	金 額
	市内居住者	282,000円		第 1 期	267,900円
	上記以外の者	423,000円		第 2 期	267,900円
		年 額		535,800円	

※現行の金額です。

在学時に改定が行われた場合には、
改定時から適用されることになります。

■本学では、授業料の減免制度や奨学金制度など様々な経済支援を行っています。



公立大学法人 北九州市立大学学術振興課

〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号

TEL: 093-964-4021・4036

HP: <https://www.kitakyu-u.ac.jp>

